

Ⅱ 教育委員会の点検・評価

1 藤沢市教育振興基本計画評価委員会

(敬称略)

	氏 名	役 職 等
委員長	藤 井 佳 世	横浜国立大学教育学部准教授
副委員長	渡 邊 美 子	学校・家庭・地域連携推進会議会長
委 員	渡 邊 泰 典	多摩大学グローバルスタディーズ学部 教授
委 員	伴 瑞 穂	藤沢の子どもたちのためにつながる会

2 開催状況

- (1) 第1回藤沢市教育振興基本計画評価委員会 2019年7月8日
- ・藤沢市教育振興基本計画評価委員委嘱
 - ・委員長選出、副委員長指名
 - ・藤沢市教育振興基本計画各基本方針の自己評価について説明及び質疑応答
 - ・点検・評価対象事業の抽出
- (2) 第2回藤沢市教育振興基本計画評価委員会 2019年7月22日
- ・点検・評価対象事業について担当課より事業説明
 - ・事業説明に関する質疑応答
- (3) 第3回藤沢市教育振興基本計画評価委員会 2019年8月13日
- ・点検・評価対象事業についての追加質問
 - ・点検・評価対象事業に対する講評
 - ・全事業の進行管理についての意見
 - ・点検・評価及び進行管理を通じた教育委員会へのアドバイス

3 今年度の点検・評価重点事業について

「藤沢市教育振興基本計画」に掲載している115事業のうち、教育委員会の点検・評価の対象となる85の事業について、評価委員の方からご意見をいただきました。また、その中から特に6つの事業を抽出し、重点的に議論をして、ご意見・ご助言をいただきました。

4 点検・評価重点事業一覧

事業コード	事業名	担当課
122	教育文化センター研究研修事業	教育指導課
312	新入生サポート事業	学務保健課
426	子ども読書活動推進事業	総合市民図書館
528	ふじさわ宿交流館の運営事業	郷土歴史課
622	スポーツ施設整備事業	スポーツ推進課
821	学校施設改築・大規模改修事業 (老朽化解消)	学校施設課

2018年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 122(812)	事業名 教育文化センター研究研修事業	担当部 教育部	担当課 教育指導課		
事業目的 教職員の資質能力や指導力の向上を目指し、今後の指導及び教育活動の充実を図る。		変更(ある場合) * H29年度より、道徳研究部会を新設。(防災と自然研究部会は閉会。成果は、研修講座で発信。) * H29年度より、道徳研修講座を2講座を追加			
事業内容 本市の教育及びこれに係る文化の振興に関する専門的、技術的事項の研究調査を行う。 藤沢市教職員人材育成基本方針に基づき、教育関係職員に対して研修講座及び授業研究セミナー等を企画・実施する。 (研究部会の開催・研究紀要の発刊・研修講座の開催・教育情報の提供)					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
	●藤沢市教職員人材育成基本方針に基づいた研修の企画・実施				
	参加者数 約2,300人 満足度 平均4以上	→	→	→	2,300人以上 平均4以上
予算額(千円)	39,259	37,757	37,991	34,143	32,418
決算額(千円)	38,706	36,576	33,954	33,087	
執行率(%)	98.6	96.9	89.4	96.9	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対する2018年度末 の成果	<ul style="list-style-type: none"> 参加者総数3,562人 研究部会104回実施 研修講座73本開催 研究紀要・教育情報誌発刊 		2018年度の 総合評価	評価 B	次年度 継続
2018年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			評価の理由		
<ul style="list-style-type: none"> 研究部会(全104回) 教育課題研究部会 10回 国語科研究部会 12回 社会科研究部会 12回 研究報告書発刊 算数・数学科研究部会 12回 理科研究部会 11回 外国語活動・英語科研究部会 12回 道徳研究部会 13回 情報教育研究部会 13回 研究報告書発刊 教育実践臨床研究部会 9回 研究紀要発刊 研修講座(全73回) 一般研修 5講座 専門研修 58講座 土曜研修講座 10回 授業力向上研修講座 35回対応(小 34回、中1回) 第11回学習意識調査の周知・活用 教育情報の提供 「ふじさわ教育」編集委員会 2回 「ふじさわ教育」第177号、178号発刊 教育文化講演会 「こうやれば使えるようになる英語の学び方」 藤沢市総合かがく展 運営委員会 3回 開催10/18～10/23 入賞者表彰式 10/20 児童・生徒研究集録(第36集)発刊 研究報告会 開催 3/28 教職員の専門性を高め、授業力向上に寄与した。			・本年度の事業内容は概ね滞りなく進んだ。 教育の今日的な課題に対応した研修講座の充実を図ったことにより、教職員の専門性を高め、視野を広げることができた。 ・各研究部会の研究を通し、研究員の指導力向上につながった。		
			今後の方向		
			・教育の今日的な課題への対応や、学校現場のニーズにこたえるため、教育委員会各課等と連携を深めていく。		
			2019年度事業計画		
			・日々の教育実践に必要な教職専門者としての研修を行い、教師の力量を高めて、教育の質的向上を図る。 ・研究部会(7部会 全84回) ・研修講座(全69回) ※土曜研修講座、授業力向上研修講座含む ・教育文化講演会、総合かがく展開催 ・「ふじさわ教育」の編集・発刊 ・研究報告会の開催		
課題・問題点			2019年度の目標達成に向けた今後の対応や施策の柱を踏まえた取組について		
<ul style="list-style-type: none"> 今日的な教育課題や現場のニーズの把握に努め、さらなる研究・研修の充実を図る必要がある。 研究部会の精選を行うとともに、研究の視点や方法について質的向上を図る。 ふじさわ教育や教育文化講演会の内容の更なる充実や、藤沢市総合かがく展のより効果的な運営に向けて、検討する。 			<ul style="list-style-type: none"> 今日的な教育課題や、現場のニーズに対応した研修講座や教育文化講演会を企画するとともに、ちらし等で情報発信していく。 各研究部会が新学習指導要領の実施を見据えた研究テーマを設定し、講師と連携を取りながら、研究員の研究活動を支援していく。 研究内容を教職員に発信するため、授業公開、研究報告書作成、研究報告会等を実施する。 		

2018年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 312	事業名 新入生サポート事業		担当部 教育部	学務保健課	
事業目的		変更(ある場合)			
学習の基礎・基本の定着及び学習意欲の向上並びに集団生活への適応を促進し、安定した学校生活を身につけさせ、教育効果の向上を図る。		事業内容について、平成30年度から、校内研修時間を年間17時間に変更。			
事業内容					
<ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校1年生を対象にして市費講師を配置する。 ・新任講師対象の研修会1回、全講師対象の研修会1回を実施する。 ・校内研修を各講師に対して年間17時間実施する。 					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
	●市費講師の配置				
	実施	→	→	→	→
予算額(千円)	25,535	25,966	26,038	23,252	23,271
決算額(千円)	25,369	25,957	25,199	22,830	
執行率(%)	99.3	100.0	96.8	98.2	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対する2018年度末 の成果	・全小学校の第1学年に対して市費講師1人(5学級以上となる学校へは2人)配置		2018年度の 総合評価	評価 B	次年度 継続
2018年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			評価の理由		
<p>・計画どおり小学校1年生に市費講師を適正に配置したことで、基本教科を中心に、チームティーチングによるきめ細かな指導を行うことができ、教育効果の向上が図られた。また、集団行動や作業の機会にもサポート講師による個別指導を行うことで、集団生活への適応を図ることができた。</p> <p>・研修を実施したことにより、担任とサポート講師の連携が深まるなど事業が円滑に行われた。</p> <p>・学校から「授業で一人一人の理解の状況に応じて対応できた」、「集団行動時にサポート講師がいることで活動を円滑に行うことができた」等サポート講師を必要とする意見が多く、サポート講師配置による教育効果は大きい。</p>			・計画どおりの事業を行うことができた。		
			今後の方向		
			<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校の第1学年に対して市費講師1人(5学級以上となる学校へは2人)配置の継続。 ・会計年度任用職員に係る説明会の実施。 		
			2019年度事業計画		
			<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校の第1学年に対して市費講師1人(5学級以上となる学校へは2人)配置。 ・年間31週の任用。 ・校内研修各講師17時間。 ・新任講師対象の研修会1回実施。 ・全講師対象の研修会1回の中で、会計年度任用職員に係る説明会の実施。 		
課題・問題点			2019年度の目標達成に向けた今後の対応や施策の柱を踏まえた取組について		
<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする場合がある児童数が増加傾向にあり、また、経験年数の浅い若手教員が1年生の学級担任となるケースも多い。そのような状況の中、本事業の目的を再確認しながら、サポート講師と学級担任が連携し、サポート講師の有効活用を図ることが重要となっている。 ・新入生サポート講師の会計年度任用職員(2020年4月施行)への移行に向けて、任用制度の見直し及び勤務条件の検討が必要となる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校の第1学年に対して、4学級以下の学校に各1人、5学級以上の学校に各2人のサポート講師を配置する。 ・チームティーチングによるきめ細かな指導を行うことによって、児童一人ひとりの学びを支え、教育効果の充実を図る。 ・会計年度任用職員への制度移行に伴う説明、任用等を円滑に実施する。 		

2018年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 426	事業名 子ども読書活動推進事業	担当部 生涯学習部	担当課 総合市民図書館		
事業目的		変更(ある場合)			
子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けることができるよう、子どもの読書環境を整備し、読書機会の充実を図る。					
事業内容					
「藤沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境の整備と読書機会の充実を図る。 ・ブックスタート事業など子どもの発達段階にあわせた事業等の充実 ・団体貸出など学校及び子どもに関わる施設・団体等との連携事業の充実 ・子どもと読書に関わるボランティアの育成 ・学校図書館の運営等への支援					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
	●学校及び子どもに関わる施設団体等との連携事業の実施				
	団体貸出回数 750回	800回	850回	900回	950回
	ブックスタート事業の実施 →				
	交流会・研修会等の実施 →				
	予算額(千円)	5,542	5,208	5,368	4,970
決算額(千円)	5,235	5,069	5,120	4,888	
執行率(%)	94.5	97.3	95.4	98.4	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対する2018年度末 の成果	学校及び子どもに関わる施設団体への団体貸出回数(873回) ・ブックスタート事業の実施(48回) ・ボランティア交流会(5回)、研修会(4回)の実施		2018年度の 総合評価	評価 B	次年度 継続
2018年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			評価の理由		
<p>「ふじさわ子ども読書プラン2020 第3次藤沢市子ども読書活動推進計画」に基づき事業の実施に努めた。</p> <p>・ブックスタート事業を48回実施し、幼児と保護者に絵本の読み聞かせを行い、子育て支援情報・図書館案内・絵本リスト等の入ったブックスタート・バックを3,397人に手渡し、絵本を介した心ふれあう時間を持つきっかけとなるよう努めた。</p> <p>・母子健康手帳交付時「こんにちは赤ちゃん事業」・3歳6か月児健診時で、保護者に啓発リーフレットを配付し、読書に関心を持つ機会の拡充に努めた。</p> <p>・学校及び子どもに関わる施設・団体等に団体貸出を873回実施し、資料の充実に努めた。</p> <p>・リサイクルブックフェアを2回実施し、学校及び幼稚園・保育園等に対して資料提供を行い、各施設等の資料の充実を図ることができた。</p> <p>・図書館からおすすめの児童書を児童クラブ35箇所、公民館15箇所、六会市民センター分館、藤沢市民病院及び学校教育相談センターへ配本した。</p> <p>・図書館・図書室おはなし会ボランティア連絡会を4回実施し、ボランティア同士の意見交流や情報共有に努めた。</p> <p>・ブックスタートボランティア交流会を1回実施し、情報共有に努め、活動の参考とすることができた。</p> <p>・図書館・図書室おはなし会ボランティア研修会を3回、ブックスタートボランティア研修会を1回実施し、今後の活動の充実のために参考とすることができた。</p> <p>・学校図書館専門員連絡会に参加し、学校図書館との連携推進を図った。</p> <p>・「ふじさわ子ども読書プラン2020」実施事業評価報告書について検討を行った。</p> <p>・子どもの読書活動推進のための市民向け啓発講座等を6回開催した。</p>			<p>計画どおり事業を行うことができた。</p> <p>・団体貸出、リサイクルブックの提供、児童書の配本事業等により、各施設等の資料の充実を図ることができた。</p> <p>・ブックスタート事業前後のフォローアップ事業として、各種保健事業実施時等に啓発リーフレットの配付を継続して実施した。</p> <p>・ボランティア研修会については、過去の研修会の録画上映を行うことにより、開催回数及び参加者の増加を図ることができた。</p>		
課題・問題点			今後の方向		
<p>・各種ボランティア交流会及び研修会等の充実を図る。</p> <p>・学校及び子どもに関わる施設・団体等との連携事業の周知方法等について検討の必要がある。</p> <p>・「ふじさわ子ども読書プラン2020 第3次藤沢市子ども読書活動推進計画」の推進に努め、年度毎の進捗管理を適切に実施し、計画の効果的な推進を図る必要がある。</p> <p>・図書館からの配本事業の対象施設について検討の必要がある。</p>			<p>・団体貸出については、学校の利用回数、利用人数が微減したため、目標値に届かなかったが、子どもに関わる施設団体等については、引き続きよく利用されている。目標値の修正は行わず、今後の経過を観察するとともに、事業の更なる周知に努める。</p> <p>・ボランティア交流会及び研修会等の実施については、日程や研修内容の充実について検討する。</p> <p>・ブックスタート事業前後のフォローアップ事業については、関係各課と調整しながら引き続き実施する。</p> <p>・図書館からの配本事業については、対象施設や配本内容を検討する。</p>		
			2019年度事業計画		
			<p>・学校及び子どもに関わる施設・団体等に対する資料の団体貸出・配本等、連携事業の実施</p> <p>・学校図書館専門員連絡会への参加等学校図書館運営に関わる支援の実施</p> <p>・ブックスタート事業及びフォローアップ事業の実施</p> <p>・各種ボランティア交流会及び研修会の実施</p> <p>・藤沢市子ども読書活動推進会議の開催</p> <p>・「ふじさわ子ども読書プラン2020 第3次藤沢市子ども読書活動推進計画」の進捗状況の確認及び評価</p> <p>・「藤沢市子ども読書活動推進計画」の改定に向けた作業部会・策定委員会の開催とアンケート調査の実施</p>		
			2019年度の目標達成に向けた今後の対応や施策の柱を踏まえた取組について		
			<p>・学校及び子どもに関わる施設・団体等に対する資料の団体貸出等連携事業が広く活用されるよう、様々な機会を捉えての周知及び提供する資料の充実に努める。</p> <p>・ブックスタート事業のフォローアップ事業の実施に向けて、子ども健康課が実施する各種保健事業との連携について検討する。</p> <p>・子どもの読書活動推進に関わる各種ボランティアの学びを支援するために、交流会及び研修会の内容や開催回数等について検討し、充実を図る。</p> <p>・「藤沢市子ども読書活動推進計画」の改定に向けて、子どもの読書活動に関する市民の様々な意識やニーズを調査・把握することを目的としたアンケート調査を実施する。</p>		

2018年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 528	事業名 ふじさわ宿交流館の運営事業	担当部 生涯学習部	担当課 郷土歴史課		
事業目的 旧東海道藤沢宿に(仮称)ふじさわ宿交流館を整備し、他の様々な取組と併せ地域の活性化に繋がる活用を図る。		変更(ある場合)			
事業内容 旧東海道藤沢宿に地域の歴史や文化を学べ、休憩や交流の場としても活用できる施設として(仮称)ふじさわ宿交流館を整備する。 ・藤沢宿の歴史・文化・なりわいの紹介 ・伝統芸能の発表の場の提供 ・地域の活性化のための事業実施					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	2015年度 ●ふじさわ宿交流館の整備・運営	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
	新築工事	開館 利用者数 25,000人	26,000人	26,000人	26,000人
予算額(千円)	214,457	31,049	30,380	30,628	31,125
決算額(千円)	154,860	30,841	30,380	30,069	
執行率(%)	72.2	99.3	100.0	98.2	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対する2018年度末 の成果	利用者数30,022人, 多目的ホール事業実施数 延べ106日	2018年度の 総合評価	評価 A	次年度 継続	
2018年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		評価の理由			
<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と年度協定締結 ふじさわ宿交流館運営協議会の実施 伝統芸能等各種イベントの実施 箱根駅伝応援イベントの実施 藤沢宿無料ガイドの実施 郷土資料展示室の展示替え 		<ul style="list-style-type: none"> 開館から、積極的な周知活動を進める中で、様々な事業を実施した成果もあり、目標の利用者数を上回ったため 			
		今後の方向			
		<ul style="list-style-type: none"> 今年度から5年間の基本協定を締結し、引き続き指定管理者である藤沢市観光協会が運営を行う。また、地域の市民活動団体等と連携し、地域ににぎわいの創出を目指す。 			
		2019年度事業計画			
		<ul style="list-style-type: none"> 運営協議会の開催 伝統芸能等各種イベントの実施 藤沢宿のPR 地域団体と連携した交流館ワークショップ事業の実施 地域団体と連携したホームページの更新 藤澤浮世絵館と連携したミニ展示およびみどころ解説 市内小学校の交流館活用促進 			
課題・問題点		2019年度の目標達成に向けた今後の対応や施策の柱を踏まえた取組について			
<ul style="list-style-type: none"> ふじさわ宿交流館を通して、どのように地域の活性化とにぎわいの創出に繋げていくかを、また、地域との連携をどのように深めていくかを指定管理者、地域住民、商業関係者等と連携しながら検討・実践していく。 利用者数について目標値は上回っているものの、年々減少しているため、今年度行う新たな事業の効果を検証する。 		<ul style="list-style-type: none"> 施設で行う事業の継続実施ほか、「藤沢今昔まちなかアート」や「旧東海道藤沢宿まつり」、「藤沢のひなめぐり」等の地域団体と連携した事業において、展示や講演会、まち歩きツアー等の拠点施設として、一体となった事業を展開する。 地域団体と連携した交流館ワークショップ事業全18回を実施するとともに、地域と連携して藤沢宿周辺の情報をホームページに掲載し更新する。 藤澤浮世絵館と連携したミニ展示2回及びみどころ解説や遊行寺宝物館特別展と連携した関連事業等を行い、市内施設の相互利用を促進する。 市内小学校の交流館活用にあたり、充実した解説の準備を行う。 			

2018年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	スポーツ施設整備事業			担当部	生涯学習部
622					担当課	スポーツ推進課
事業目的				変更(ある場合)		
市民が生涯にわたって多様なスポーツに親しみ、健康で明るく豊かなスポーツライフを実現する環境づくりを目指す。				各スポーツ施設の老朽化対策、下土棚遊水池グラウンドの運営管理・利用調整に関する項目を追加。		
事業内容						
多様な市民ニーズに応じた施設整備を進めるとともに、安心・安全で誰もが楽しめる生涯スポーツ環境の充実を図る。また、不足している野球場・球技場について、活動場所の早期確保に努める。						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
	●天神スポーツ広場の整備					
	実施	→	完了			
	●葛原スポーツ広場野球場2面化整備					
	実施	→	→	→		
●各スポーツ施設の老朽化に対する対応						
●下土棚遊水池グラウンドの運営管理・利用調整				実施	→	
					検討	
予算額(千円)	69,793	157,968	208,594	137,169	14,900	
決算額(千円)	69,793	138,973	204,442	99,519		
執行率(%)	100.0	88.0	98.0	72.5		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対する2018年度末 の成果	八部公園野球場スコアボードの改修工事が完了した。		2018年度の 総合評価	評価	次年度	
				B	継続	
2018年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			評価の理由			
<ul style="list-style-type: none"> 八部公園野球場スコアボードについては、老朽化による一部動作不良や、選手名・チーム名・審判名が手書き表示の上、高所での作業となっていたことから、利用者の安全確保と利便性の向上を図るため改修工事(LED電光表示化)を行った。 秋葉台文化体育館の自動火災報知設備については、法定点検においてガス漏れ等を知らせる充電回路の動作不良などが指摘されたことから、設備の更新工事を行った。 その他、多目的トイレ扉の付替えや、ウォッシュレットの増設など、利用者からいただいたご意見を踏まえ、利便性向上を図るための施設・設備の改修を行った。 			<ul style="list-style-type: none"> 八部公園野球場スコアボードを改修したことで、操作性、安全性が高まり、競技環境が大幅に改善された。 設備の更新工事を行ったことで、施設利用者の安全確保が図れた。また、各種修繕等においては、快適に利用できるよう利便性向上が図れた。 			
			今後の方向			
			<ul style="list-style-type: none"> 市民の活発なスポーツ活動を妨げないよう計画的な施設の改修工事等を行い、安心・安全に施設が利用できるよう、環境整備に努める。 既存施設を有効活用するとともに、新たな施設・活動場所の確保について関係機関と連携し、協議・検討を行っていく。 			
			2019年度事業計画			
			<ul style="list-style-type: none"> 八部公園屋内プールの防音壁改修工事の実施。 下土棚遊水池(県施工)上部グラウンド利用について、関係部局との協議・検討。 			
課題・問題点			2019年度の目標達成に向けた今後の対応や施策の柱を踏まえた取組について			
<ul style="list-style-type: none"> 既存施設の老朽化に対する中長期的な改修計画を策定し、建物及び設備を計画的に整備する必要がある。 			<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全で快適なスポーツ環境が提供できるよう、八部公園屋内プールの防音壁改修工事などの施設整備を行う。 下土棚遊水池の上部グラウンド利用について、関係部局と調整し、管理・運営方法を具体化させる。 民間企業が保有するグラウンド等の活用について検討する。 			

2018年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 821(323)	事業名 学校施設改築・大規模改修事業 (老朽化解消)	担当部 教育部	担当課 学校施設課		
事業目的 学校施設(校舎・屋内運動場等)の老朽化を解消し、安全で良質な教育環境を確保する。		変更(ある場合) 当初の計画では、平成29年度から「改築または大規模改修事業着手6校」であったが、公共施設再整備プランにおいて2校のみ実施事業として位置づけられ、残りの4校については検討事業となったため。(H29)			
事業内容 ・藤沢市学校施設再整備計画に基づき、老朽化している学校施設(校舎・屋内運動場等)の耐力度調査の実施並びに調査結果に基づく施設の改築または大規模改修を実施する。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	2015年度 ●学校施設再整備計画の策定 →	2016年度 ●耐力度調査の実施 21校 →	2017年度 →	2018年度 →	2019年度 →
	実施	→	→	→	→
			●改築または大規模改修事業着手 2校 →		
			設計	設計・工事	→
	予算額(千円)	62,511	55,955	52,657	361,146
決算額(千円)	50,112	45,614	43,874	185,979	
執行率(%)	80.2	81.5	83.3	51.5	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対する2018年度末 の成果	・小学校1校の全面改築基本構想、中学校1校の屋内運動場改築事業基本・実施設計を実施した。		2018年度の 総合評価	評価 B	次年度 継続
2018年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			評価の理由		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴南小学校の全面改築基本・実施設計を実施した。 (2カ年継続事業の1年目) 施設については、鶴南小学校、浜見保育園、よつば児童クラブとの一体的な整備をすることで、複合化施設となるよう設計を進めている。 ・ 六会中学校の屋内運動場改築事業基本・実施設計、及び改築工事を実施した。 (基本・実施設計委託は2カ年継続事業の2年目) (改築工事は2カ年継続事業の1年目) 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施した。 		
			今後の方向		
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 本計画及び「学校施設再整備第1期実施計画」に基づく事業を、計画に沿って進めていく。 		
			2019年度事業計画		
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 全面改築基本・実施設計委託 鶴南小学校 ・ 屋内運動場改築工事 六会中学校 		
			2019年度の目標達成に向けた今後の対応や施策の柱を踏まえた取組について		
			<ul style="list-style-type: none"> ● 鶴南小学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2カ年継続の2年目となる設計業務を予定どおりのスケジュールで粛々と進め、今年度中の完了を目指す。 ・ 2020年度から着手予定の建設工事予算の適正確保に努める。 ● 六会中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2カ年継続の2年目となる建設工事は予定どおり順調に進んでおり、来年1月竣工予定。 ・ 2020年度は、既存屋内運動場の解体と跡地整備を計画しており、工事費予算の適正確保に努める。 		
課題・問題点					
<ul style="list-style-type: none"> ● 改築または大規模改修事業着手 公共施設再整備プランにおいて、実施事業に位置づけられた2校について、平成29年度から事業着手となったが、今後とも計画に沿って事業を進めていくよう進捗状況を確認しながら、業務を執行していくことが必要である。 					

6 評価委員会からいただいたご意見及び今後の方向性

122 教育文化センター研究研修事業
【ご意見】 <ul style="list-style-type: none">○ 藤沢市教職員人材育成基本方針に基づき、教育関係職員に対して様々な分野にわたり研修講座及び授業研究セミナー等を企画実施するなど、本事業は、「熱意と指導力のある教員の養成」という施策の柱に寄与している。○ 若手を中心にセンター研究員を構成し、それぞれの部会で年10回前後の研究会を開催していることは、研究員の指導力やキャリア、教育活動に重要な意味をもたらしている。○ 研究成果の報告については広く教職員からのリアクションを拾うとともに、独自の教材開発、継続的な研究なども重要だと思うので積極的に取り組んでほしい。○ 今後は、教育活動の充実という観点から、授業力に限定されない教育に関する今日的課題についても、研修や部会設定を行うなど、広い意味での教員の指導力の向上に取り組んでほしい。○ より今日的な教育課題や現場のニーズに対応した実践型の研究研修が行われ、教員自身が学びを深めていくことにより、藤沢の子どもたちの多様な学びの機会が増えることを期待する。○ 採用につながる可能性のある臨時的任用職員や非常勤職員の方々が参加しやすい企画を期待したい。
【ご意見を踏まえた今後の方向性】教育指導課 <ul style="list-style-type: none">・研修講座の実施につきましては、今後も現場のニーズを捉え、授業力向上のみならず、教育に関する様々な課題に対応できる研修講座を積極的に計画していきます。・研究部会は今後も各部会が、継続的かつ実践的な研究が行われるよう努めます。藤沢市独自の教材開発については、各部会の教科等の特性を踏まえながら、研究の区切りとなる年度に検討していきます。また、研究内容については、教職員が集まる研究報告会や授業研究セミナー等の機会を通して、広く教職員から意見や感想を拾い、研究に生かしていきます。・臨時的任用職員や非常勤職員の研修については、経験の浅い教職員を対象にした「土曜研修講座」や今年度から始めた新規採用の臨時的任用職員対象の研修の更なる充実を図っていきます。
312 新入生サポート事業
【ご意見】 <ul style="list-style-type: none">○ サポート講師が、個別の児童の対応を行うことにより、「学びを支え質の高い教育環境の整備」という施策の柱に貢献している。○ 小学校1年生までの学びの機会は家庭によって様々であり、学校生活への適応をスム

ーズに行える環境をつくることで、学びの機会の可能性を広げることにつながっている。

- 1年生の学級担任と、サポート講師との連携はますます必要になると思われる。
- 学校、学年、地域の特徴を捉えながら、これからもある程度、柔軟に対応のできる方法でサポートを行っていくことを期待する。
- 支援を必要とする場合がある児童数が増加傾向にあり、経験年数の浅い若手教員が1年生の学級担任となるケースが多いならば、余裕のある配置を検討するなどして、これからもなお一層充実した体制作りと事業の展開継続を期待する。
- 各学級のサポート時間を少しずつでも増やしていけるよう、配置数の増加を目指していただきたい。

【ご意見を踏まえた今後の方向性】学務保健課

- ・サポート講師の配置により、小学校1年生に対して円滑な学校生活への適応を促進してまいります。また、チームティーチングによるきめ細かな指導により、学習の基礎・基本の定着を図ってまいります。
- ・学級担任とサポート講師が連携を図り、児童理解や指導及び支援の方法についての情報共有や意見交換を行うことによって、教育効果の向上を図ってまいります。
- ・集団生活にうまく順応できないなど、支援を必要とする場合がある児童に対しても、学級担任とサポート講師が連携しながら個に応じた指導・対応を行うことで、集団生活への適応を図ってまいります。
- ・各学校におけるサポート講師の活用状況等の把握に努め、本事業の充実を図ってまいります。

426 子ども読書活動推進事業

【ご意見】

- 本事業は、施策の柱である「多様な学びを支援する図書館活動の推進」や、子どもの読書環境の整備と読書機会の充実に貢献している。
- 「多様な学びのできる生涯学習社会を目指します」という基本方針に対しても大切な事業だと思う。
- ブックスタート事業では、健診という機会を捉え、幼児と保護者に絵本の読み聞かせを行い、とても素晴らしいと思う。
- 児童生徒の図書館への興味関心を増進するために、児童生徒等も巻き込んだかたちで図書館ボランティアを充実させることができればよいのではないかと。
- 成長してもなお継続して本と親しむ機会を充実させる取組として、学校との協力体制を密にし、子どもたちが本離れすることのない環境づくりを期待したい。
- これからの図書館を、「考える人を育てる」という視点から、子どもの読書活動を取り入れた企画や活動を行うなど、本が好きな子どもが参加できるような取組を期待したい。

【ご意見を踏まえた今後の方向性】 総合市民図書館

- ・今後も、「すべての子どもが本に親しむことができるまち ふじさわ」を目指し、学校及び子どもに関わる施設・団体等と連携し、さまざまな施設や場所における子どもの読書活動の推進を図るとともに、工夫を凝らした催しや行事の実施に努め、子どもの読書活動に対する理解や関心を深めてまいります。

528 ふじさわ宿交流館の運営事業

【ご意見】

- 「歴史の継承と文化の創造」という施策の柱は勿論のこと、「郷土文化資産の保全・活用と地域に根ざした文化芸術活動の推進を図ります」という基本方針に対しても大切な事業である。
- 地域団体と連携した交流館ワークショップ事業を行う等、地域に根差した交流館としての機能が充実してきていることはとても良いことである。
- 子どもたちの自習室としてスペースを開放し、子どもたちの学びの場の提供や学びの機会を作っていることも素晴らしい取組である。
- 今後も交流館ならではの雰囲気を活かした、地域の活性化と賑わいの創出につなげるための連携を進めてほしい。
- 地域と連携して、遊行寺を含め、旧東海道の宿場としての藤沢を地域全体として盛り上げる拠り所として力を発揮していただきたい。
- 人が集まる場所としての交流館の役割は、現時点で一定程度達成されていると考えられ、今後は集まってきた人々に対し、歴史や文化に対して関心を高める入り口となることを期待したい。

【ご意見を踏まえた今後の方向性】 郷土歴史課

- ・ ふじさわ宿交流館においては、引き続き、多様なイベントを開催して集客を図るとともに、商工会議所をはじめとした経済団体や郷土づくり推進会議等の地域の市民団体と連携した回遊性を高める各種イベントなどの取組により、旧東海道藤沢宿及びその周辺地域の活性化とにぎわいの創出を目指してまいります。
- ・ 次世代を担う子どもをはじめ、様々な世代の方々に、学びの場やワークショップイベント等を通じて、江の島・藤沢ガイドクラブや昔の遊びを伝える会等の市民団体と連携のもと、藤沢の歴史や文化に触れる機会を提供してまいります。

622 スポーツ施設整備事業

【ご意見】

- 各スポーツ施設の老朽化対策、安全確保と利便性の向上を図るための改修工事など、本事業は「スポーツ環境の充実」という施策の柱に貢献している。
- 老朽化の進む大規模スポーツ施設の整備は、安心・安全なスポーツ環境を提供するために大切な事業である。

- 将来的には、年齢・地域の区別なく、多くの人々がスポーツ施設にアクセスできるようにしていただきたい。
- これからも多くの子どもたちが、多様なスポーツに触れる機会をぜひとも作っていただき、スポーツを楽しむきっかけを作っていただきたい。
- 不足している野球場・球技場の早期確保を期待するとともに、今日的なニーズ・新しいスポーツにも目を向けた取組にも期待したい。

【ご意見を踏まえた今後の方向性】スポーツ推進課

- ・老朽化しているスポーツ施設について計画的に改修工事等を行い、安心・安全で、いつでも・どこでも・だれでも・いつまでもスポーツを楽しめるよう、環境整備に努めてまいります。
- ・学校、公民館等の既存体育施設や民間体育施設を有効活用するとともに、新たな施設・活動場所の確保に向けて、関係機関と連携しながら協議・検討を行い、市民のニーズに対応した、多様なスポーツに親しめるよう、スポーツ施設の充実を図ってまいります。

821 学校施設改築・大規模改修事業（老朽化解消）

【ご意見】

- 施策の柱である「命を守る教育環境の整備」に寄与する重要な事業であり、実際に建設を行っている現場では、子どもたちの安全を最優先とし現場のサポート体制をしっかりと考えていることは素晴らしいと思う。
- 今後も計画に沿って進行することを期待するとともに、長期間の工事となるので、児童の学校生活や安全面については十分な配慮をお願いしたい。
- 市の公共施設の一つとしての学校は、子どもたちの学校生活の過ごし方に大きく関わることなので、今後も可能な限り着実に進めてほしい。
- 実施事業として位置づけられた2校の確実な事業執行と、事業が先送りされた4校については、よく検討されることを期待する。

【ご意見を踏まえた今後の方向性】学校施設課

- ・現在、事業を進めている2事業については、現計画に基づき、今後も着実に事業を進めていくことを目指すとともに、工事の実施にあたっては、児童に対する万全な安全対策を図り、あわせて工事による教育活動や学校生活環境への影響を極力低減すべく、できる配慮について改めて検討してまいります。

また、未着手の事業につきましては、事業内容等の再確認・再検討を図り、次期「再整備プラン」において「実施事業」として具体的な事業の位置づけとなるよう、必要な手続きや調整を図ってまいりたいと考えております。